

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成27年4月23日(2015.4.23)

【公表番号】特表2014-513130(P2014-513130A)

【公表日】平成26年5月29日(2014.5.29)

【年通号数】公開・登録公報2014-028

【出願番号】特願2014-509425(P2014-509425)

【国際特許分類】

C 07 D 487/04 (2006.01)

A 61 K 31/55 (2006.01)

A 61 P 9/02 (2006.01)

A 61 P 11/06 (2006.01)

A 61 P 25/28 (2006.01)

A 61 P 9/10 (2006.01)

A 61 P 25/24 (2006.01)

A 61 P 25/14 (2006.01)

A 61 P 25/18 (2006.01)

A 61 P 25/22 (2006.01)

A 61 P 11/16 (2006.01)

A 61 P 13/02 (2006.01)

【F I】

C 07 D 487/04 1 5 0

C 07 D 487/04 C S P

A 61 K 31/55

A 61 P 9/02

A 61 P 11/06

A 61 P 25/28

A 61 P 9/10 1 0 1

A 61 P 25/24

A 61 P 25/14

A 61 P 25/18

A 61 P 25/22

A 61 P 11/16

A 61 P 13/02

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月6日(2015.3.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

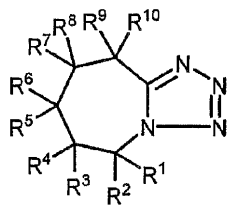
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 I :

## 【化 1】



(I)

を有する化合物、またはその薬学的に受容可能な塩であって、

$R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^3$ 、 $R^4$ 、 $R^5$ 、 $R^6$ 、 $R^7$ 、 $R^8$ 、 $R^9$  および  $R^{10}$  のそれぞれが、水素、重水素、およびフッ素から独立して選択され、 $R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^3$ 、 $R^4$ 、 $R^5$ 、 $R^6$ 、 $R^7$ 、 $R^8$ 、 $R^9$  および  $R^{10}$  の少なくとも1つが、水素ではなく、

$R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^9$  および  $R^{10}$  のそれぞれが、水素であるとき、 $R^3$ 、 $R^4$ 、 $R^5$ 、 $R^6$ 、 $R^7$  および  $R^8$  の少なくとも1つが、重水素以外であることを特徴とする化合物またはその薬学的に受容可能な塩。

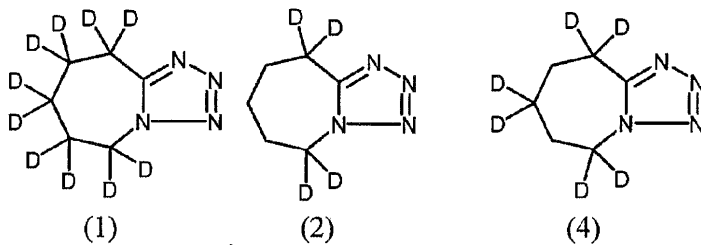
## 【請求項 2】

$R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^3$ 、 $R^4$ 、 $R^5$ 、 $R^6$ 、 $R^7$ 、 $R^8$ 、 $R^9$  および  $R^{10}$  が、水素および重水素からそれぞれ独立して選択されることを特徴とする請求項 1 に記載の化合物またはその薬学的に受容可能な塩。

## 【請求項 3】

上記化合物が、

## 【化 2】



からなるグループから選択されることを特徴とする請求項 2 に記載の化合物またはその薬学的に受容可能な塩。

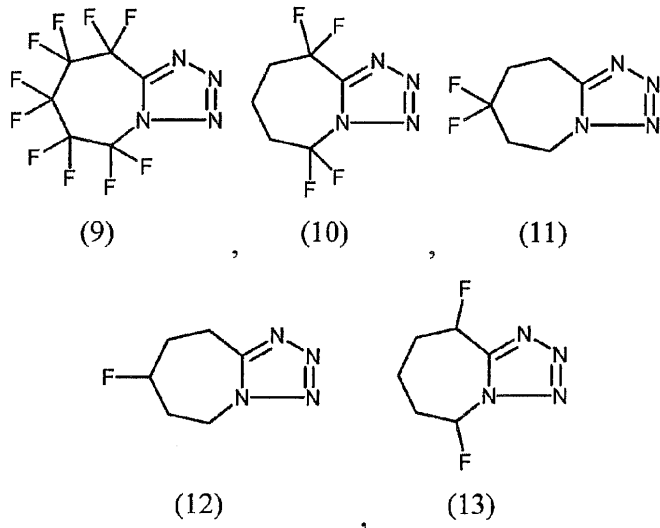
## 【請求項 4】

$R^1$ 、 $R^2$ 、 $R^3$ 、 $R^4$ 、 $R^5$ 、 $R^6$ 、 $R^7$ 、 $R^8$ 、 $R^9$  および  $R^{10}$  が、水素およびフッ素からそれぞれ独立して選択されることを特徴とする請求項 1 に記載の化合物またはその薬学的に受容可能な塩。

## 【請求項 5】

上記化合物が、

## 【化 3】

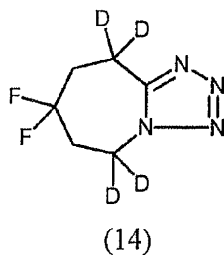


からなるグループから選択されることを特徴とする請求項 4 に記載の化合物またはその薬学的に受容可能な塩。

## 【請求項 6】

上記化合物が、

## 【化 4】



であることを特徴とする請求項 1 に記載の化合物またはその薬学的に受容可能な塩。

## 【請求項 7】

請求項 1 ないし 6 のいずれか 1 項に記載の化合物またはその薬学的に受容可能な塩、および、薬学的に受容可能な添加物を有することを特徴とする薬学的組成物。

## 【請求項 8】

請求項 1 に記載の化合物またはその薬学的に受容可能な塩の、0.1 mg ないし 1 g、および、一つまたはそれより多い薬学的に受容可能な添加物を有する一回服用量形であって、該一回服用量形が、ヒトに対する経口または静脈内の投与に適していることを特徴とする一回服用量形。

## 【請求項 9】

請求項 1 に記載の化合物またはその薬学的に受容可能な塩を有効成分として含有する循環の促進剤。

## 【請求項 10】

請求項 1 に記載の化合物またはその薬学的に受容可能な塩を有効成分として含有する呼吸の促進剤。

## 【請求項 11】

請求項 1 に記載の化合物またはその薬学的に受容可能な塩を有効成分として含有する鎮咳剤。

## 【請求項 12】

請求項 1 に記載の化合物またはその薬学的に受容可能な塩を有効成分として含有する、老化、老人性錯乱、精神病、不安症と精神緊張とがあるときの精神神経症、脳動脈硬化、悪心、鬱病、疲労、衰弱、軽い行動障害、神経過敏、感情不安、反社会的態度、不安症、

目眩または失禁またはその兆候を治療する薬学的組成物。

**【請求項 13】**

請求項 1 に記載の化合物またはその薬学的に受容可能な塩を有効成分として含有する、  
ダウン症、フェニールケトン尿症、神経線維腫症 1 型、メーブルシロップ尿症、レット症  
候群、胎児期アルコール症候群、自閉症スペクトル障害、概日リズム崩壊、アルツハイマ  
ー病または痴呆を有する個体において認知機能を改善する薬学的組成物。